

令和4年度 京都府大会を振り返って

バスケットボール専門部

はじめに、今年度京都府大会の運営にご尽力いただいた京都府中学校体育連盟バスケットボール専門部の先生方、並びに口丹波中学校体育連盟バスケットボール専門部の先生方、会場を提供していただきました施設や関係の皆様のご多大なるご協力を賜り、大会が滞りなく運営できましたことを厚く御礼申し上げます。

大会は、7月29日、30日の両日とも亀岡運動公園体育館を使用しました。

男子参加校は丹後ブロック代表の与謝野町立江陽中学校、中丹ブロック代表の舞鶴市立白糸中学校、口丹波ブロック代表の亀岡市立亀岡中学校、亀岡市立東輝中学校、山城ブロック代表の宇治市立木幡中学校、同志社国際中学校、京都市ブロック代表の京都精華学園中学校、京都市立修学院中学校、京都市立北野中学校、京都市立京都御池中学校の10校でした。

女子参加校は、丹後ブロック代表の京丹后市立網野中学校、中丹ブロック代表の舞鶴市立青葉中学校、口丹波ブロック代表の亀岡市立大成中学校、亀岡市立亀岡中学校、山城ブロック代表の京田辺市立田辺中学校、京田辺市立培良中学校、京都市ブロック代表の京都精華学園中学校、京都市立西京極中学校、京都光華中学校、京都市立加茂川中学校の10校でした。

残念ながら、新型コロナウイルス感染症の影響で、男子の北野中学校、女子の西京極中学校は直前に棄権することになりました。

1日目は、1回戦と準々決勝の計12試合を行いました。男子1回戦では、同志社国際が東輝に勝ち、江陽が不戦勝で勝ち上がりました。準々決勝では京都精華学園が白糸に、同志社国際が京都御池に、亀岡が江陽に、修学院が木幡にそれぞれ勝利し準決勝に進みました。女子1回戦では、培良が網野に、大成が青葉に、それぞれ勝利しました。準々決勝では京都精華学園が亀岡に、培良が加茂川に、大成が京都光華に勝ち、田辺が不戦勝で、それぞれ準決勝に進みました。

2日目の準決勝男子の試合は、京都精華学園が同志社国際に82対27で勝利し、亀岡が修学院に64対63と1点差で勝利しました。京都精華学園と亀岡の決勝では、強固なディフェンスからの速攻につなげる展開の速い京都精華学園のペースで試合が進み、97対36で京都精華学園が勝利し優勝を果たしました。準決勝女子の試合は、京都精華学園が培良に111対35で勝利し、大成が田辺に88対67で勝利し決勝に進みました。京都精華学園と大成の決勝では、前半から京都精華学園リードの展開で、途中、大成も猛攻をかけて健闘しましたが、速さや高さを生かして得点を重ねた京都精華学園が105対53で勝利し優勝を果たしました。近畿大会には、男子の京都精華学園中学校、亀岡市立亀岡中学校、女子の京都精華学園中学校、亀岡市立大成中学校が出場することとなりました。

最後に、多くの先生方にご協力いただき、競技運営が円滑に行われたことに改めてお礼申し上げますとともに、京都府のチームが近畿や全国の大舞台で好成績を上げられるよう、専門部としてますます努力精進していきたいと思っております。

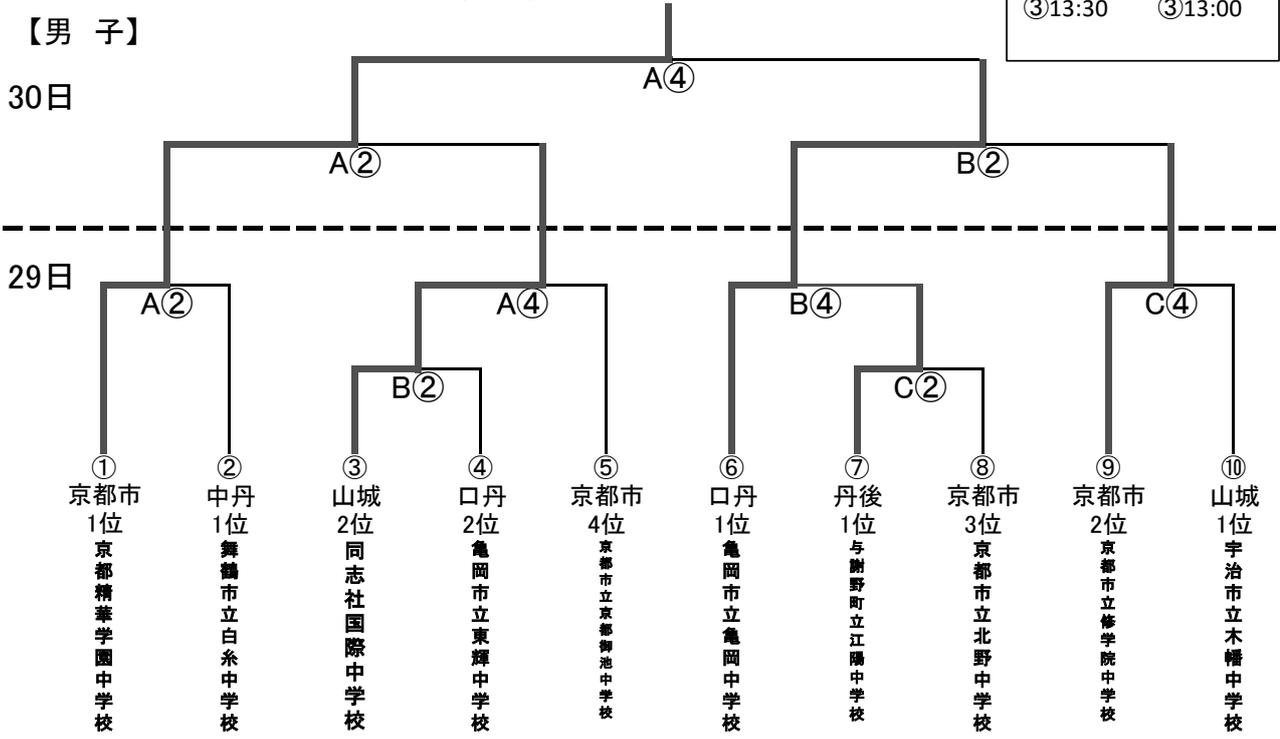
第75回 京都府中学校総合体育大会 バスケットボールの部

会場: 亀岡運動公園体育館

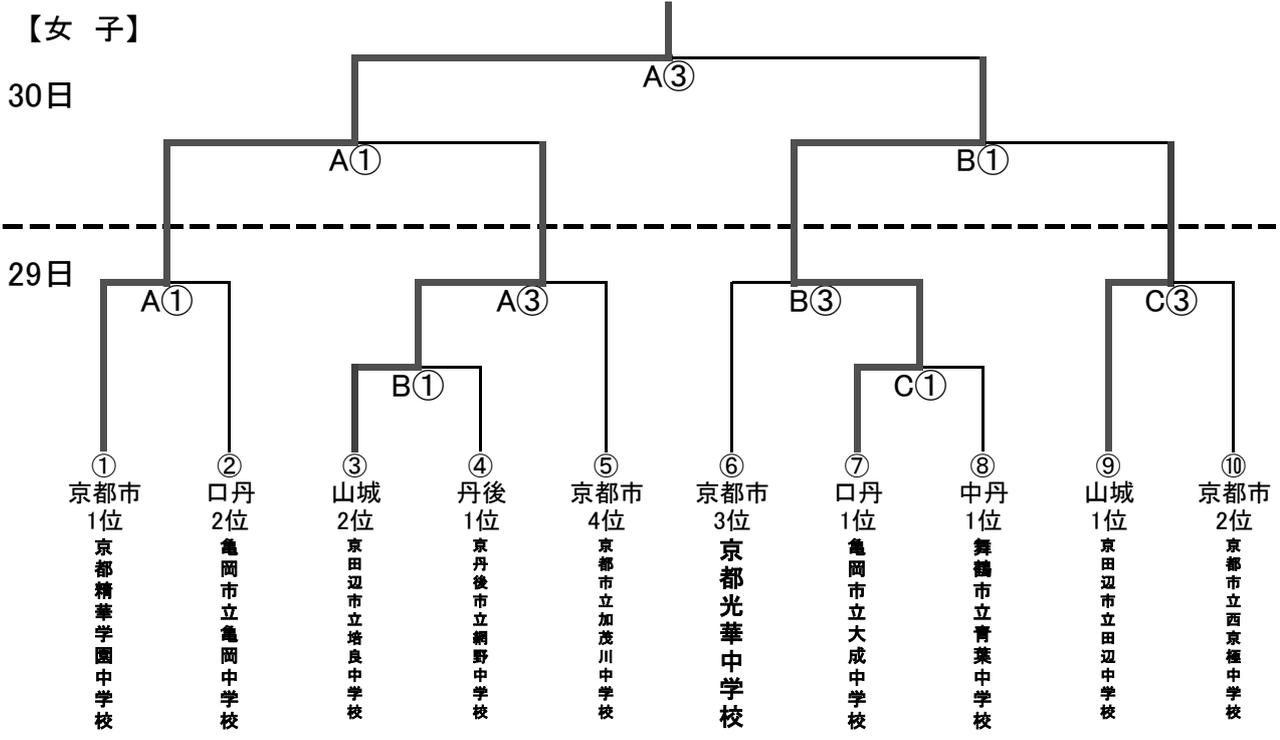
日時: 7月29日(金) 亀岡運動公園体育館
7月30日(土) 亀岡運動公園体育館

29日(金)	30日(土)
①10:30	①10:00
②12:00	②11:30
③13:30	③13:00

【男子】



【女子】



男子
優勝
準優勝
第3位
第3位

京都精華学園中学校
亀岡市立亀岡中学校
同志社国際中学校
京都市立修学院中学校

女子
優勝
準優勝
第3位
第3位

京都精華学園中学校
亀岡市立大成中学校
京田辺市立培良中学校
京田辺市立田辺中学校